

●●● 編集後記 ●●●

編集委員未経験の私が委員長を務めることになり、右も左も分からず不安でしたが、現編集委員および前編集委員の皆様のご尽力により何とか無事に発刊できてほっとしています。今号では、1編の英語論文と、8件のニュースを採録しました。巻頭言は、昨年6月に本学会の国際交流担当理事に就任されて早速、2026年の第32回国際レーザーダ会議（ILRC32）を日本に招致することに成功された、気象研究所の酒井先生にご執筆いただきました。論文は、ラマンライダー計測と局地解析の水蒸気混合比プロファイルについての詳細な精度評価報告で、ニュースは2024年度に開催された国際会議の報告およびレーザーセンシングシンポジウム開催報告、加えて、本学会が若手研究者の研究支援と奨励を目的に設けている国際学術交流助成および廣野賞発表賞の受領者による国際会議参加報告と受賞者による論文紹介を寄稿していただきました。また、今号では初の試みとして、本学会学生会員の学位論文リストも掲載しました。各大学・研究室の研究の動向を相互に知ること、新たな協力関係・共同研究が生まれるなど、皆様の研究活動活性化の一助となることを期待しています。

さて、編集委員会では2025年度からの「学術論文等の即時オープンアクセス義務化」に対応するため、今後の掲載記事にDOI（デジタルオブジェクト識別子）を付与する準備を進めています。この新しい取り組みの一環として、本学会誌をJ-Stageに登録する準備も着々と進行中です。これにより、本学会誌がより広く、より多くの研究者に届くようになることを目指しています。皆様からのご投稿、ご寄稿をお待ちしております。

編集委員会 委員長 江尻 省

■編集兼発行人：レーザーセンシング学会 (<https://laser-sensing.jp/>)

■企画：レーザーセンシング学会編集委員会

江尻 省（委員長）、柴田泰邦（副委員長）、西澤智明、及川栄治、荻田将一

■連絡先：〒305-0052 茨城県つくば市長峰1-1 気象庁気象研究所 気象観測研究部
第2研究室気付 レーザーセンシング学会編集委員会

■電子メール：lrsj-edit_office@laser-sensing.jp